

業務改善の実施状況報告

組織名	農林水産技術会議事務局技術政策課	連絡先	03-3502-7406
所管する業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・試験研究に係る基本的な目標等の企画、内閣府その他関係機関との連絡調整、政策評価、情報の高度利用の企画や成果の調査及び広報や資料の刊行に関すること ・遺伝子組換え農作物の生物多様性影響評価等に関すること 		

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組実績及び現在実施している取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産省の職員としての意識を常に持ち、接遇マニュアルや接遇研修を踏まえた親切・丁寧な対応を心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より一層の丁寧な接遇に努め、また相手が理解しやすい説明を心がける。
<ul style="list-style-type: none"> ・国民の目に触れる資料については、理解が得られるための説明内容の改善を行い、分かりやすい資料を作成することにつとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一方的な情報提供ではなく、相手側の主張や意見にも耳を傾け情報提供を行うよう努める。

2. 国民視点に立った業務の遂行について	
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組実績及び現在実施している取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・地方組織の担当者から現場における取組状況の情報収集を実施し、国民の施策ニーズの把握に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、地方組織の担当者との意見・情報交換に努めるとともに、地方組織担当者に加え、産業界や大学、消費者団体、青少年からの研究ニーズの把握に努める。
<ul style="list-style-type: none"> ・研究開発の推進方向や実績について、外部有識者で構成されている評価専門委員会による評価を実施し、その評価結果を研究の企画・立案及び研究課題の見直し等に反映させている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究開発の効果的・効率的な実現と農林水産研究に対する国民の理解を得るため、国民に広く農林水産研究の効果を説明するなどの取り組みを進める。

<ul style="list-style-type: none"> 研究評価、研究成果等の情報について報道発表、web siteへの掲載、各種資料の配布などを通じ国民に分かりやすく提供するように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明対象者別にそれぞれ対応した資料等の作成・利用を実施する事により、各分野ごとに、より一層の理解促進を促す取組を実施する。 また、中立的な情報提供に努め、その広報手段が、国民に誤解を与えないか常に注意を払う。 更に、平易な表現にこだわるあまりに専門的な正確性を失わないように配慮する。
<ul style="list-style-type: none"> 消費者団体や民間企業等と会合を持ち、意見交換を実施し現場の要望把握を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後とも、消費者団体、現場、民間企業、関係者と意見交換を行うとともに、現在の施策の広報を実施し、情報共有を図る。

<h3>3. 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> これまでの取組実績及び現在実施している取組 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> 日常的に、業務運営等についての疑問点や意見をお互いに指摘しあえる環境をつくり、特定の職員に負荷がかかりすぎないように業務分担を見直している。 普段の会話においても意識してお互いの業務内容の把握に努め職場内の風通しを高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務運営により広い視野で取り組めるよう、研修等の機会があれば積極的に参加する。 今後とも、特定の職員に負荷がかかりすぎないように、より一層の業務の平準化に取り組む。 上司は部下のやる気を引き出す声かけを推進する。

<h3>4. その他の農林水産省改革を進めるための取組について</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> これまでの取組実績及び現在実施している取組 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の課題とその改善策
<p>1. ～3. に分類できない取組があれば、この欄に記載する。</p>	